

お客様の事業継続を支える NECのソリューション

NECでは「日本社会の高信頼性を実現する」という観点より事業継続・災害対策に以前から着目していました。大規模な自然災害や事故発生時における人命保護と事業継続には、企業・自治体・地域住民が協力し合いながら「自助・共助・公助の社会基盤」を確立することが必要であるとの考えのもと、これをIT・ネットワークの面から支援する製品およびサービス、ソリューションを体系化しています。本特集ではこれらNECの事業継続(Business Continuity : BC) / 災害対策(Disaster Recovery : DR)サービス、ソリューションについてご紹介すると同時にNEC自身の取り組みについてもご説明します。

システムサービス 事業本部長
山口 真人

1 はじめに

「事業継続(Business Continuity : BC) / 災害対策(Disaster Recovery : DR)サービス」とは、①企業・団体の事業継続に必要な計画立案、②オフィス環境も含めた遠隔地での代替ITシステム設計・構築、および③それらの運用サービス、などを総合的に提供するものであり、欧米などにおいて広く普及しています。

日本では防災対策の観点で情報システムのバックアップやデータの遠隔保管などは従来から行われてきました。しかしながら昨今の通常では想定しえない災害が多発するなかで、また企業の社会的責任が増大するなかでは従来の対策をBCの観点で見直し、対策を講じる必要性が高まりつつあります。

NECは、以前からこのBC/DRという考え方に着目しており、企業や団体のBCを支援する製品およびサービス、ソリューションを研究、開発してきました。加えて2004年に米国SunGard社とBCおよびDRサービス分野において提携をしました。

SunGard社は、BC/DRの先駆的企業であり、1979年の創立以来20年以上の実績と経験により、現在までに1,500を越えるDRの発動に対しても100%の成功率で、BCを支援した実績を持っています。

NECはSunGard社が持っている実績や先進的なノウハウをもとにNEC社内へのBC/DR展開をリファレンスとして活用し、日

本の企業や団体のお客様に適したサービスを開発し体系化しました。

NECが提供するサービスの概要を図1に示します。

2 NECのBC/DRサービスの概要

2.1 BCコンサルティングサービス

BCコンサルティングサービスでは、BCに必要な投資を効果的に行うためのビジネス影響度分析から、迅速な復旧のための事業継続計画(Business Continuity Plan : BCP)の策定まで総合的にご支援します。

(1) リスクアセスメントとファシリティレビュー

お客様の事業環境を取り巻く現状の災害リスクを洗い出すと同時にコンピュータシステムや設置されている建屋・機器・設備の調査を行い、災害に対する脆弱性の評価と次ステップ以降のBCの検討作業を行う前提条件を明らかにします。

(2) ビジネス影響度分析(Business Impact Analysis : BIA)

お客様の業務を分析し、それぞれの業務が停止した場合の損失を定量化し、非常時に復旧すべき業務の優先順位や復旧目標時間(Recovery Time Objective : RTO)および復旧時点目標(Recovery Point Objective : RPO)を設定します。また同時に事業復旧を妨げる業務の脆弱性(ボトルネック)を明確にしま

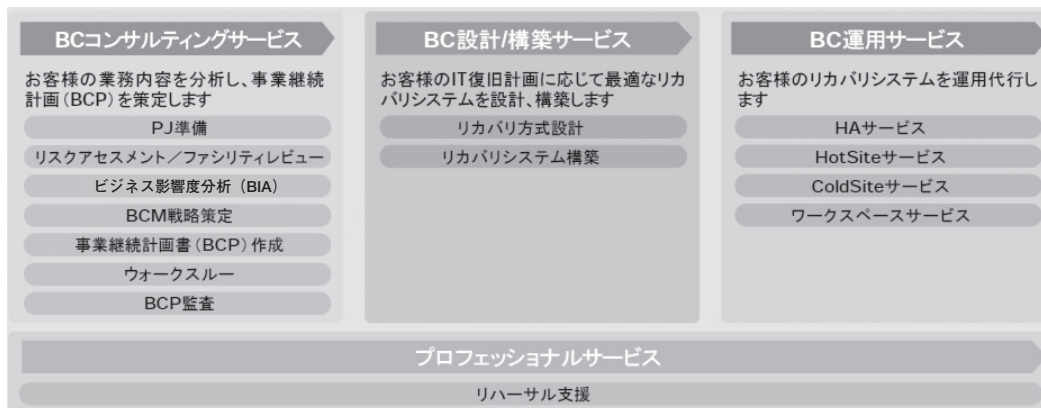


図1 NECが提供するサービスの概要

す。

(3) BCM(Business Continuity Management)方針策定

明確になった事業復旧時の脆弱性と業務ごとの復旧優先順位や復旧目標をもとに、事業復旧方針、情報システム復旧方針を定めます。また、BC/DRを維持するマネジメント(BCM)の設計、全社のBC対応方針や考え方をまとめた事業継続ポリシーの策定など、BCを実現するために必要な活動を洗い出し、BC中期計画としてまとめます。

(4) 事業継続計画書(BCP)策定

業務を復旧するための対策本部の設置、連絡網の整備、事務処理マニュアル作成などの「業務復旧計画書(Business Recovery Plan : BRP)」、業務復旧に必要な情報システムのリカバリ方法や手順、システムリカバリ要員やシステムの運用を継続するための技術者との連絡手段などを決定し文書化する「IT機能復旧計画書(IT Recovery Plan : ITRP)」などによって構成される「事業継続計画書(BCP)」の策定を支援します。策定に当たってはSunGardから入手したノウハウをもとに内閣府中央防災会議から発行されている「事業継続計画策定ガイドライン」などの各種ガイドラインの内容も加味し、日本企業で実証済みのテンプレートを用いることでBCP策定を効率的に支援します。

そのほかにもお客様社内でのBC/DRプロジェクト推進を支援する「BCプロジェクト企画」やお客様が保有する既存のBCPの内容を机上で検証する「ウォークスルー」、お客様社内のBC/DRの実現度合いを診断する「BCアセスメント」など、各種コンサルティングサービスをご用意しています。

2.2 BC設計/構築サービス

復旧方針や目標(RTO、RPO)に基づいて、お客様のシステムにとって最適なリカバリ方式を選択し、お客様のBC/DR仕様(復

旧レベル、データ転送方式、データ容量、オフィススペース要件など)を満たすハードウェア、ソフトウェア、ネットワークなどの構成を設計するリカバリシステムを構築します。

このリカバリシステムは、お客様のバックアップセンタ、もしくは、NECの災害時の代替サイトである「BCセンタ」内で構築し評価することが可能です。

2.3 BC運用サービス

災害時の代替サイトの検討においては遠隔地の代替サイトとして活用いただくために堅牢かつ安全な「BCセンタ」を用意しており、このBCセンタ内に構築されたお客様のバックアップシステムを、NECの専門サポート要員がITILに基づいた運用を代行します(図2)。そして非常時(DR発動時)においてはバックアップシステムへの切り替えを行い、ユーザごとの契約に基づき業務を再開させます。

併せて、BCセンタでバックアップシステムを用いて復旧し、運用する際に必要なお客様のSEや運用技術者の方に利用していただく代替オフィススペースを必要に応じて用意し、お客様のBC/DRをご支援します。

またNECでは耐震、免震構造を持ち、火災やセキュリティ対策にも万全を期したデータセンタを全国各地に展開しています。事業継続のためにはBCサイトにバックアップシステムを持つことが重要ですが、すぐにできる対策として、本番システムをこのような強固なデータセンタに移設するだけでも災害時のデータ消失やシステム破壊などのリスクをかなり軽減できる場合があります。コンサルティング作業における現状のお客様の本番サイトの災害脆弱性を評価させていただいた結果で、代替システムの構築よりも、まずは本番システムのデータセンタへの移設をご提案する場合があります。

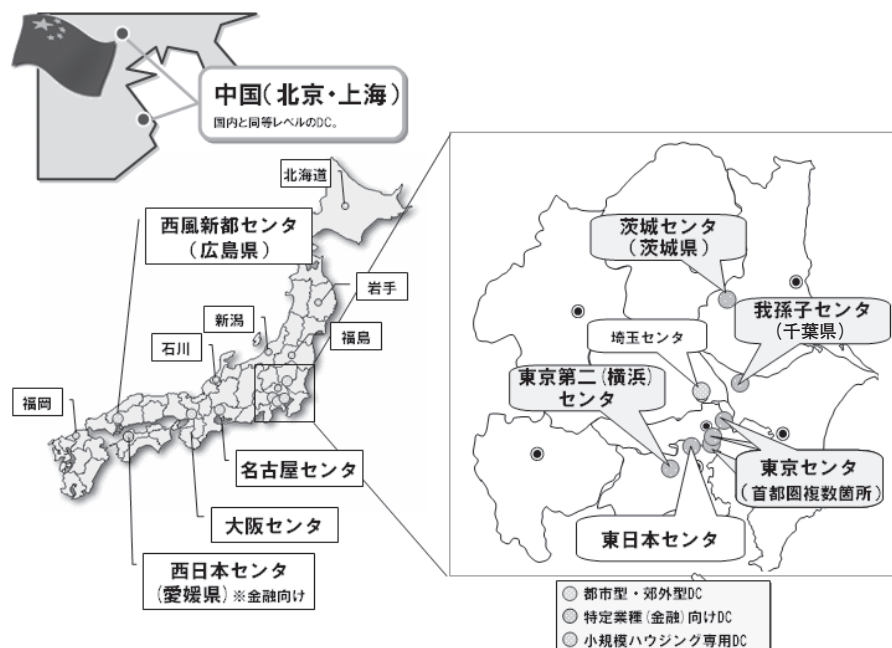


図2 各地のBCセンタ

2.4 教育・トレーニングサービス

BRP、ITRPで定めた手順に従い、システムの復旧から業務の復旧、通常運用への復帰に至るまでのリハーサル(災害時訓練)を行い、BCの観点かプランの検証を行うサービスを提供します。

リハーサルには様々な危機に対応するため、シナリオを用いた状況判断訓練である「エクササイズ」と実際のDRシステムを用いた復旧訓練である「ドリル」をご用意しています。

エクササイズでは、たとえば道路が通行止めでバックアップサイトに移動できないなどの想定外の事象を「サプライズ」という形で盛り込んだ災害シナリオを準備し、実際に災害時にBCに

携わる方に会議室などに集っていただき、災害時の行動をシミュレートします(写真)。そうすることによりプランの検証を行い不備な点を発見できると同時に、災害が発生した際に迅速に行動できるような教育や、メンバの危機管理意識を高めることができます。

2.5 その他サービス

その他、お客様本番機やDRシステムを設置しているマシン室やデータセンタを免震、耐震化する工事サービスや災害時の初動や拠点との情報連携手段を提供する災害情報システムや安否確認システムなどの各種パッケージシステムの提供を行っています。

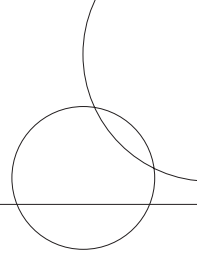


写真 会議室での災害時行動のシミュレーション風景

3 NECのBC/DRサービスの特長

バックアップシステムの構築やBCPを作成しただけでは真のBC/DRを実現することはできません。日常の業務にBC/DRのマネジメントを定着させ、PDCAサイクルのなかで継続的に改善することが必要となります。NECのBC/DRサービスは、単なるハードウェアの提供やリカバリシステムの構築にとどまらず、リスク分析、BCの企画・計画からリカバリシステムの運用、リハーサルまで、PDCAのサイクルに沿って行うことを想定したトータル支援サービスを提供しています。

主な特長は以下のとおりです。



3.1 計画から設計・構築・運用・リハーサルまでトータルサポート
リカバリシステム構築にとどまらず、BC/DRの企画から設計・構築、運用、リハーサルまでトータルでサポートすることにより、PDCAそれぞれのフェーズで提供したサービスがお互いシームレスに連携し、お客様の事業継続管理(BCM)は効果的に実施されます。

3.2 SunGard社のBCノウハウとNECのソリューションの融合

NECは災害復旧、BC/DRサービスにおけるリーディングプロバイダSunGard社から得たノウハウとNECが長年の製品、SI、サービスで培った技術やノウハウを融合させました。

一方、地震に対する危機感の違いなど、危機管理についての考え方は米国と日本では異なる部分も多いため、NEC社内のBC展開プロジェクトなどのリファレンスを通じて日本の災害状況や危機管理の考え方に合うように最適化しました。

3.3 最適な技術を組み合わせたサービス提供

NECは、プラットフォームテクノロジー「VALUMO」やグリッド技術をベースに、ベスト・オブ・ブリード(各ジャンルで最高の機能を持つ複数のソリューションの組合せ)でパートナー製品を組み合わせ、高信頼のソリューションを提供します。また、NECが長年にわたるSI事業で培ったシステムの構築経験と様々なDR実証実験を通して培った先進技術を生かし、堅牢かつセキュアなデータセンターでITIL、ISMS、PマークなどのITサービスマネジメントの専門ノウハウに基づき、お客様の大切な資産とデータを守ります。

BCを検討する上で大切なことは、限られたリソース、制約条件のなかで、重要業務に的を絞った現実的で最適な解を見つけることです。自社のリソースですべてをまかなうことが難しくければ、積極的に優れたリソースやノウハウを有するパートナーに支援を求めることも必要です。NECは、このBC/DRの領域でもお客様から信頼されるパートナーであると同時に、企業や団体のお客様にBC/DRサービスを提供することで日本社会の高信頼性の実現に積極的に取り組んでまいります。

NECを皆様のパートナーとしてお選びいただけましたら幸いです。

*本稿に記載の会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

4 おわりに

NECは内閣府中央防災会議の事業継続ガイドラインの検討を行った「企業評価・業務継続ワーキンググループ」へのオブザーバーとしての参加や、日本規格協会でのBCPの国際標準化検討ワーキンググループへの参加など、BCに関するオピニオンリーダー、専門家としての貢献を積極的に行ってきました。

そして、2006年6月にBC/DRの普及と標準化および専門化育成を目的とした「事業継続推進機構(Business Continuity Advancement Organization : BCAO)」が特定非営利活動法人(NPO)の認証を受け設立されました。

NECはBC/DR事業に関して積極的に行ってきた経緯もあり、本NPOの設立にも関与し、小職が理事に就任するとともに法人会員として10人のBCスペシャリストを送り込み活動を開始しています。